

大見得を切れる
千両役者に！



見切らずして『二回目』の仕事人生&人生は始まらない

「どうしようかな。もうそろそろ限界かな」という“迷い”がよぎったら、思い切って見切る。無駄な足掻きはやめて、『二回目』に向けて舵を切る

「終わり良ければ全てよし」という先人の言葉に、人間としての『人生の法則』がある。——この言葉は、「ああ、いい人生だった！と最後に思える」こと。つまり「人生の目的」である。目的達成のためには「一回目に見切りを付け、二回目にさっさと進むべきだ」ということを示唆している。言わば、「見切り」とは、「こだわりを捨て、迷いを振り切り、動く」ということ。見切らずして、「終わり良ければ・・・」の心境に達することはない

『一身二生』を実現するには、「一回目」に見切りを付け、脳も身体も一新して、『もう一人の自分』になる。そして『二回目』の仕事人生&人生に「明日への希望」を持って臨むことが大切です

言い換えれば、「見切り」とは、『もう一人の自分』（=二回目を生きていく自分）になる準備を「一回目」終盤の45歳頃からし始め（=もう一人の自分の要素を3割ほど織り込みます）、「今までの自分」（=一回目を生きてきた自分）を卒業して、“迷い”を振り切って、『もう一人の自分』に大胆に変身するということです

見切らずして『新たなステージ』に移行できず、「ああ、いい人生だった！と最後に思える」という「幸せな境地」（=A Happy State）に達することはありません。——「人生の目的」を達成するには、タイムリーな時期に「見切る」ことが大切です

BST
コメント